

新年明けましておめでとうございます。輝かしい平成26年の新春を健やかに迎えたいと心からお慶び申し上げます。

就任して3年が過ぎました。私の任期も残すところ今年1年となりました。

一昨年、新政権が発足し、景気回復の兆しが見えてきたというものの、地方や中小企業ではまだまだ実感として感じられてはいないのではないのでしょうか。当町でもリーマンショック以降の税収減等もあり、昨年は13年ぶりに普通交付税交付団体となつてしまいました。これらを想定し財政改革を喫緊の課題として、これまで事業の仕分け、公募補助金制度の導入、市民と共に財政白書を作成、新たな公共施設のマネジメントや行政評価制度の導入などに取り組んできました。

草の萌ゆる、樹の育つ、其の初は必ず勾曲して土をゆく、屈せずして出づるは殆ど無し。よろずの物、苦境を経ざるは絶えて無しといふ可し。(『洗心録』)

就任後の施政方針で引用した幸田露伴の言葉です。草や木は土から芽を出す時は真っ直ぐではなく、自らの体を曲げながら屈しながら苦勞しながら芽を出すという意味です。

この3年間は厳しい財政状況下で、一つひとつの政策や事業がまさに勾曲して芽を出し始めた時であつたように思われます。

蒔いた種の芽が始めました。長年の懸案であつた富士塚土地区画整理事業も始まり、3か年で鶴瀬駅西通線も開通す

る予定です。白紙状態であつた(仮)第3公民館・給食センター複合施設もこの1月から着工、待機児童を解消し子育て支援のため第3保育所を改築へ、青少年のスポーツ振興のためのグラウンドも民間からお借りしスポーツ総合公園として整備着手へ、ふじみ野市と共同利用の環境センターが完成し春には温浴施設の供用開始、新しい公共交通導入に向け秋にはデマンド交通(乗合タクシー)の試行運転開始など…。

これらは、住民の皆さんと協働のまちづくりを進める中で、一人ひとりの声や願いに真摯に耳を傾け合意形成を図りつつ、住民の皆さんが導いてくださった結果だと考えます。

「進一歩」という言葉があります。「百尺竿頭に二歩を進む」という仏道の言葉です。百尺竿頭とは長い竿の先のことですが、それは、きびしい修行を経て到達できる悟りの境地です。修行のすえに悟りを開いたとしても、修行の道に終わりはないから「さらに一歩を進めよ」ということです。また、更なる「覚悟」とも言えます。

荒れ狂う風の中も「進一歩」、順風満帆の時も「進一歩」、勾曲しながら芽が出始めた時も「進一歩」…。

未来の豊かな三芳町の発展のために、さらなるご理解とご協力をお願い申し上げます。本年が皆さまにとりまして幸多い年になりますよう、心からご祈念申し上げ年頭のあいさつとします。



# 年頭のごあいさつ

三芳町長 林 伊佐雄



昨年の10月に役場から見た紅。

## 町のキラリ★ 町長の事業所訪問

### 第6回「アスクル株式会社」

町内には、まだまだ知られていない「キラリ」と光る事業所が多く存在します。そんな事業所を町長自ら訪問して、事業所の概要や今後の展望等を聞き、それを住民に紹介する「町のキラリ★町長の事業所訪問」を10月30日(水)に実施しました。

問 観光産業課商工観光係(内線214・215)



第6回目は、10月30日(水)に上富にある「アスクル株式会社」を訪ねました。

アスクルではオフィス用品を始めとする様々な商品のインターネット通販サービスを展開しています。注文したものが明日来るから「アスクル」という社名になつたとおり、流通における様々な設備に工夫を凝らし、今年の7月に東日本エリアの新たな拠点とすべく三芳町に「ASKUL Logi PARK 首都圏」を開所しました。

三芳に決めた要因は、所沢

ICなど東京北西部や関東全域への好アクセス条件、液状化の少ない強固な地盤エリアなどの条件を兼ね備え、「アスクルが生まれた土地」という岩田社長の思いが大きかったとの事。

約20年前に同じ上富にあるプラス株式会社の中で生まれた事業が、時を経て大きく成長し、再び三芳に戻ってきたことに社長を始め、社員一同の感慨もひとしおであつたそうです。

東日本の拠点として202億円を投資したこちらの建物は約7万アイテムを保管し、1日に

約12万行(発注の単位)もの出荷能力があるそうです。それらの商品は建物内に設置されたルートを通ります。そのルートとなるコンベアは全長約8キロメートルにもなり上富から鶴瀬駅を往復できる距離に匹敵します。また、建物内には膨大な商品があり、すべての保管・管理状況には別世界にいるように感じられ、圧倒されました。

この施設を新設したことにより、最短当日お届けができる在庫商品の拡大と、より競争力のある物流・配送力を実現するこ

とにより、一番をめざしていくそうです。インターネットで注文したものが翌日には手元に届くということ、あたりまえに感じていましたが、これらを実現するため、とてつもない企業努力をした賜物であることがあらためて認識させられました。

三芳で生まれた事業が大きくなって三芳に帰って来られたことはうれしい出来事です。これからも流通業界の先駆者としてますますの発展をご祈念申し上げます。



名称 アスクル株式会社 代表取締役兼 CEO 岩田 彰一郎  
所在地 ASKUL Logi PARK 首都圏 〒354-0045 三芳町上富 1163  
Web <http://www.askul.co.jp>  
「ASKUL makes work fun!」これまでオフィスでの皆さまのお役に立ちたい、とひたすら進化してまいりました。これからはオフィスを超えて、働く女性や家庭、すべての皆さまにHAPPYをお届けするお手伝いができたら、と思います。「Work」も「Life」も。「ASKUL makes life fun!」です。